

2018年1月11日

## 横浜ゴム、全日本スーパーフォーミュラ選手権に 全戦で2スペックタイヤを供給

横浜ゴム（株）は2018年の全日本スーパーフォーミュラ選手権にドライタイヤとして現行のミディアムコンパウンドに加えて、新たにソフトコンパウンドタイヤを導入し2スペックタイヤを供給する。

横浜ゴムは2016年の第4戦、2017年の第4戦と第5戦で限定的に2スペックタイヤを供給し、全日本スーパーフォーミュラ選手権に相応しいソフトコンパウンドタイヤの開発を進めてきた。今回の2スペックタイヤ制の導入により、参加チームはミディアムとソフトの両タイヤを効果的に使い分ける必要があり、これによってレース戦略に幅が生まれ、コース上でのオーバーテイクやバトルの増加に繋がるなど、よりコンペティティブなレース展開が期待される。2018年は全7戦で2スペックタイヤの導入が決定している。

全日本スーパーフォーミュラ選手権はアジア最高峰のフォーミュラカーレース。横浜ゴムは2016年からオレンジオイル配合技術により、優れたグリップ性能を維持しながら環境性能を高めた「ADVAN A005」とウェット用の「ADVAN A006」を供給している。同レース以外にもフォーミュラカーレースではマカオF3グランプリ、FIA F2選手権、ドイツF3選手権など海外トップクラスの様々なレースを支えてきたほか、国内では全日本F3選手権やSuper-FJにもタイヤ供給するなど入門カテゴリーからトップカテゴリーまで幅広くサポートしている。



2017年の全日本スーパーフォーミュラ選手権で使用された  
ミディアムコンパウンドタイヤとソフトコンパウンドタイヤ（赤ライン）

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）広報部 担当：鈴木  
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570